

# おきなわの いろ 彩鳥

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。  
希少な存在になってしまったものも少なくありません。  
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここにあります。



全長 16cm、目の周りの黄色いアイリングが特徴的です。  
県内へは冬鳥として渡来し、  
水田、耕作地、海岸などで越冬します。  
秋から春頃にかけて、  
水辺で普通に見ることができる渡り鳥です。  
千鳥足は、チドリの仲間が走ったり  
立ち止まったりしながら  
採餌する行動に由来しています。

田芋畑などに渡ってくる冬鳥

## 「コチドリ」

県内各地の水田、  
干潟、河口など水辺



代表的な  
スポット

チドリ目チドリ科 *Charadrius dubius*  
レッドデータなどに指定なし



Photographer  
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学科卒業後、沖縄で環境調査に従事。  
ウェブサイトおきなわかエル商会を運営、沖縄の自然を紹介している。  
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>